

3番 柴立 豊子 議員

1 スポーツ施設のトイレ整備について

- (1) スポーツ施設の中で洋式トイレがない所はどれだけあるか。
- (2) 整備計画はどのようなになっているか。
- (3) 現代の生活様式を考慮すると、洋式トイレを早急に1か所からでも増やすべきと考えるがどうか。

2 町内会への援助について

- (1) 町内会は任意団体であるが、全戸加入が原則ともいわれる。そのことに対する見解はいかがか。
- (2) 研究者の調査によると、町内会を知らないと答えた人は多忙や無関心と同程度にいるという結果である。町内会活動を知らない人に対し、どのように周知するのか。
- (3) 住民が町内会などの地域組織に入って地域のことに取り組むことは、住民の権利だという考えがある。そのことをどう考えるか。
- (4) これまで起こった大規模災害では地域コミュニティが非常に大事だった、といわれる。このように町内会は「お互い様」という互助の心を培う場ではないかと考えるがどうか。

3 飲料水の水質検査について

- (1) 本市の水質検査及び結果について
本市の水源は、地下水が多いということだが、地下水には有害物質が含まれている可能性がある。最近では、太陽光パネルの破損により、有害物質が流れ出し、水源汚染を心配する市民もいる。そこで、本市の水質検査は、どのように行われているのか。
また、その結果はどうであったか。

(2) 有機フッ素化合物 P F A S の水質検査について

昨年、9月議会で本市の水質検査の結果は、国が暫定目標値として定めた P F O S ・ P F O A (ピーフォス・ピーフォア) の合算値が 50 ナノグラムパーリットルに対し、定量限界値である 5 ナノグラムパーリットル未満であると答弁があった。P F A S (ピーファス) は自然環境に存在しない物質であり、人体へ毒性があると言われている。このようなことから、継続して水質検査をすべきと考えるがどうか。